

会 議 録

会 議	平成27年度 第4回 尾花沢市庁舎建設検討委員会
会議日時	平成27年10月21日（水）午後6時30分～午後9時00分
会議場所	尾花沢市学習情報センター「悠美館」2階ハイビジョンホール
出欠委員 及びアドバイザー	出席委員 13名 アドバイザー 1名
事務局	尾花沢市役所 財政課職員 4名

会 議 概 要

(1) 建物の配置、階構成とゾーニングについて

① ゾーニング段階における主要な課題について

○事務局

ゾーニング段階における主要な課題について資料により説明。

○委員

市役所東線については、近隣住民の意見を第一に考え当面存続ということでもいいかと思う。

○委員長

事務局から説明があったとおり、市道を存続させた形で計画を進めていきたいと思う。

○委員

現在進めている設計の中では、教育委員会部門も統合した形で職員配置する計画である。事業費の抑制や庁舎のコンパクト化の観点から、教育委員会部門のあり方を再度精査するということがあ
るが、職員からは分庁舎で不都合があるといった意見は出ているのか。

○事務局

教育委員会部門は図書館内の学習室を間借りして配置しており、こども教育課フロアがやや手狭である。また、市民の方からは、学習室に戻してもらいたいとの意見も寄せられている。

○委員

教育委員会部門をどうするか、どの時点で結論を出すのか。

○事務局

教育委員会部門のあり方については、次回お示しする予定の概算事業費も含め整理したいと考えている。また、本市では現在、2040年時点の将来人口を約12,000人弱とする人口ビジョンの取りまとめに向け作業を進めている。将来人口を考慮すれば職員数も減少することが見込まれる。こうした観点からすれば、教育委員会部門については当面分庁舎のままにし、将来的に新庁舎へ統合するといった考え方も一選択と考えている。事業費の抑制、さらには将来動向も踏まえて方針を取りまとめていく。

○委員

教育委員会部門は元々研修棟に配置されていたが、耐震性の課題などから現在の悠美館に移転した。業務的には外部にあるということで多少の煩わしさがあるだろうが、将来を考えればこのまま分庁舎として存続してもいいのかなと思う。

○委員長

事業費の抑制も大切であるが、コンパクトを求めるあまり将来に禍根を残すことのないようにしてもらいたい。

○委員

学生時代、悠美館の学習室をよく利用していた。少子化の中でそういった機能が軽視されているような気がする。

○事務局

学習室については現在、以前のような個室型ではないが、図書館の1階に代替スペースを設けている。

② ゾーニングの各機能に係る課題について

③ ゾーニング修正案について

○事務局、設計事務所

ゾーニングの各機能に係る課題について資料により事務局から説明。その後、ゾーニング修正案を設計事務所から説明。

○委員

南側の思いやり駐車場についてであるが、2台分の配置だと全体的にバランスがとれていない。東側と同様に4台分確保してはどうか。

○設計事務所

全体のバランスを考慮して配置したい。

○委員

休日の届出受付の場所と印刷室の使い方を伺いたい。

○事務局

一点目の休日の届出関係については、1階西側の日直室で対応する計画である。二点目の印刷室についてであるが、市報等へ折り込むチラシなどは輪転機で作成しており、そういった機器を印刷室に配置して使用する計画である。事務書類は各課に配置するコピー機で印刷する。

○委員

執務スペースが手狭に感じるが、コピー機を執務内に配置できるのか。

○事務局

新庁舎では各課の間仕切りを無くし、事務スペースや収納スペース、必要なOA機器類を効率的に配置していきたいと考えている。

○委員

将来的に部署の統廃合があった場合、柔軟に対応できるのか。

○設計事務所

フリーアクセスフロアによりコンセントやLAN配線を床下に配するため、レイアウトが変わっても柔軟に対応できる計画である。

○委員

前回の会議でも申し上げたが、業者や職員の荷物の運搬を考えると、西側に業務用のエレベーターを配置してはどうか。

○事務局

ご指摘の点に加え、3階の会議室を市民の方へ一般開放した場合も考慮すると、西側にもエレベーターが必要になってこようかと思う。この点については、事業費も含めて内部で検討しているところである。

○委員

3階の配置計画についてはまだ整理されていないと思うが、議会機能について議会側といつ頃意見交換する予定なのか。

○事務局

大まかなレイアウトは固まりつつあるが、議会機能についてはまだ手付かずの段階である。まずは、12月定例会あたりで一度ご意見を伺えればと思う。また、3階の市民開放エリアについてであるが、1階からの動線を考えると、3階の研修室等を西側に集約した方が使い勝手がいいように考えている。その点も整理させていただき、議会の皆様と意見交換していきたいと考えている。

○委員

一点目は、公衆電話やAEDをどの位置に配置する計画なのか。二点目は、市民開放エリアはどういった活用を計画しているのか。三点目は、喫煙室の配置について考えを伺いたい。

○設計事務所

一点目の公衆電話やAEDについてはまだゾーニングに反映していない。今後示していきたい。

○事務局

二点目の市民開放エリアについてであるが、講習会や研修会、生涯学習などで各種団体へ貸し出したいと考えている。三点目の喫煙室については、当委員会や各地区での意見交換会での意見を踏まえると、庁内に必要と考えている。ただ、受動喫煙防止の観点から前回の案を改め北側の階段裏に配置変更した。

○委員

ピロティなど外に喫煙コーナーを設置すると受動喫煙につながる。きちんと個室を配置した方がいいと思う。

○委員

庁内にATMを配置しないのか。

○事務局

最近コンビニなどでもATMが設置され、公共施設への設置数は減少傾向にある。現状を考えると庁内にATMを配置するのは難しい。

○委員

授乳室についてであるが、母子検診室側に配置した方が使い勝手がいいかと思う。また、メインエントランス側にも配置した方がいいのではないか。

○事務局

ご指摘の点については、設計事務所と今後精査していきたい。

○委員

2階の相談室であるが、エレベーターの位置から考えると、奥まった位置に配置されており使いにくいのか。

○事務局

2階フロアについては、窓口部門に比べて相談業務の少ない部署を配置する計画で、主に窓口カウンターでの対応になると考えている。その中で、教育委員会部門については教育相談等でプライバシーが求められるため、当部門の近くに相談室を配置している。

○委員

火災が発生した場合、パイプシャッターで区切られると避難経路が遮断されないか。

○設計事務所

法令上、避難経路の確保は必須である。計画では避難用の小扉を階段脇に配置する予定である。

○委員

一点目は、1階エントランス側のバス停スペースについてであるが、2台乗り入れした場合に駐車可能なのか伺いたい。二点目は、1階・2階に配置する更衣室の使い方。三点目は、ネットワーク関係のセキュリティ対策についてどう考えているのか伺いたい。

○設計事務所

一点目のバス停についてであるが、配置スペースを考えると縦列になるかと思うが、引き続き検討したい。

○事務局

二点目の更衣室については、現庁舎では職員用ロッカーを通路に配置しているが、防犯やバリアフリーの観点から問題がある。新庁舎では、更衣室を配置して職員用のロッカーを集約したいと考えている。三点目のセキュリティ対策についてであるが、執務内には個人情報が入り込んでおり窓口カウンターや相談室で応対し執務スペースと区切っていきたい。ネットワーク自体のセキュリティ対策については今後になる。

○委員

今後観光に力を入れていくことを考えると、待合スペースを含めたバス停のあり方は非常に重要と考える。また、職員や業者の方の動線を考えると印刷室を1階又は2階に配置した方が、負担が少ないのかなと思う。最後にネットワーク関係であるが、最近では、無線ネットワークを市民が使えるエリアを配置している施設もある。新庁舎では、そういった対応も必要になってきようかと思う。

○事務局

動線については今後とも精査していきたい。また、無線ネットワークについては、庁内に取り入れている自治体も増えている。今後、内部で精査していきたい。

○委員

思いやり駐車場であるが、一般の方が止めているケースも見受ける。そういったことのないように配慮してもらいたい。

○事務局

分かりやすくサイン表示していきたい。

○委員

基本設計についてはいつ頃までに取りまとめていく予定なのか。

○事務局

予定よりも4ヶ月ほど工期が遅れている。今後の予定としては、年内に概要を固め、その上で市民へ説明していきたいと考えている。最終的には来年2月末頃になるかと思う。

(2) 空調設備計画（熱源方式）について

○事務局、設計事務所

空調設備計画（熱源方式）について資料により説明。

○アドバイザー

木質ペレットを活用した森林資源の循環、また、バックアップの点からの灯油ボイラーの併用という計画はなかなか良いかと思う。

○委員

再生可能エネルギーを活用した設備関係への国庫補助分についてであるが、建屋部分も含めた補助額なのか。

○事務局

建屋部分まではまだ含んでいない。雪冷房を考えた場合、建屋の貯蔵スペースも補助対象になり実質的な市の負担額はさらに圧縮されるかと思う。

○委員

雪の貯蔵スペースを含めた機械室の配置についてであるが、庁舎から離れていると感じる。建屋から遠いとロスが生じるのではないか。

○設計事務所

熱効率の観点からすると問題はないが、建屋の近くに配置するよりは配管の延長が長くなるためコストが高まる。

○事務局

庁舎近くに機械室を配置できれば工事費の抑制につながる。ただ、市道沿いに金融機関のATMが配置されており、この部分をどうするかが課題となる。今後調整していきたい。

○委員

機械室を庁舎の近くに配置した方がいいというのは以前から意見があがっている。

○設計事務所

次回までに整理していきたい。

○委員長

空調設備計画（熱源方式）については、提案があったとおり灯油ボイラーと木質ペレットボイラーの併用方式を基本に進めていきたいと思う。

(3) 外観及び内観デザイン案について

○設計事務所

外観及び内観デザイン案について模型及び資料により説明。

○委員

特に無し。

(4) 総括

○委員

先ほど今後の流れについてお聞きしたが、検討委員会としてはあと何回ほど開催するのか。

○事務局

前回の委員会でお示ししたとおり当初計画よりも2回追加して開催したいと考えている。

○アドバイザー

休日夜間の会議室の開放を考えると、西側にエレベーターを配置することは必須と考える。また、庁舎のフロア構成が中廊下型となっているため、照明の配置が重要になってこようかと思う。コンパクト化の中で空間の質の向上に努めてもらいたい。

○委員

実施設計の段階でも、検討委員会の皆さんに周知してもらおうとありがたい。

○事務局

委員の皆様には2年にわたりご協議いただいている。実施設計の段階では中間案など節目の段階で委員の皆様にご報告させていただきたいと思う。

以 上